

第6学年1組 体育科 学習構想案

日時 令和4年6月27日(月) 第1校時

場所 荒尾市立中央小学校体育館

指導者 教諭 龍 寛喜

1 単元構想

単元名	つないでフットビー		
単元の目標	(1)フットビーのゲームの行い方を理解するとともに、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームを行うことができるようにする。 (2)フットビーのルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)フットビーに積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① ゴール型のゲームの行い方について言ったり書いたりしている。 ② 攻撃を行うためのバックを操作する技能を身につけ、簡易化されたゲームをすることができる。 ③ チームの作戦に基づいたバックを持たないときの動き等によって、簡易化されたゲームをすることができる。	① みんながフットビーを楽しめるようにルールを選んでいる。 ② チームの特徴に応じて作戦を選んだり、選んだ作戦を仲間に伝えたりしている。	① ルールやマナーを守り、仲間を応援したり助け合おうとしたりしている。 ② 勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたりしようとしている。 ③ ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、自分の役割を果たしたり、用具の安全に気を配ったりしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
チームの仲間と声をかけ励まし合い、ボール操作の技能を身につけ、ゴール型のゲームに積極的に取り組み、運動を楽しむ児童。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
バックを操作する技能や、バックを持っていないときの動き方を身につけたり、仲間とアドバイスを出し合ったりしながら、フットビーを楽しもう。		バックの操作やバックを持たないときの動きを「する」、仲間の動きを「見る」、仲間と協力したり、声をかけ合ったりして「支える」、ゲームの行い方や攻撃の仕方を「知る」といった運動の多様な関わり方でゴール型ゲームの喜びや楽しさを味わうこと。	

時間	1	2	3	4	5	6	
学習活動	○オリエンテーション ・単元のねらい ・場の作り方 ・準備運動、対面パス ○ドリルゲーム ・ルールの確認 ○試しのゲーム1（ルールづくり） ・課題作り	学習の準備、準備運動、対面パス					フットビー大会！
		○ドリルゲーム ・対面パスゲーム(30秒×2) ・パス&ゴーゲーム(30秒×2)		○ゲーム1	○ゲーム1		
		・試しのゲーム2（課題づくり）					
		○ゲーム2		○ゲーム2			
学習のまとめ・片付け							

評価の観点	態度③（観察・学習カード）	知識技能①（観察・学習カード） 思考・判断・表現①（観察・学習カード）	知識・技能②（観察・学習カード）	態度②（観察・学習カード）	思考・判断・表現②（観察・学習カード）	知識・技能③（観察） 態度①（学習カード）
-------	---------------	--	------------------	---------------	---------------------	--------------------------

2 本時の学習

(1) 目標

相手の受けやすいパスを出すことができる。(知識・技能)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	7分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>① 準備運動をする。 ◇ しっかり伸ばしましょう。</p> <p>② ドリルゲームをする。 (対面パスゲーム、パス&ゴーゲーム)</p> <p>③ 前時でうまくいかなかった児童の振り返りを読んで、どうすればいいのか問いを持つ。 ◇ 今日は、どんな風にパックをけると相手がとりやすくなるか考えよう。</p>	<p>○今日使う部分を考えさせながら準備運動を行う。</p> <p>○ボール操作の基礎基本の定着を図る。</p> <p>○児童の振り返りを読み上げ、課題を共有する。</p>
<p>【めあて】相手が受けやすいパスを出せるようになるう。</p>			
展開	30分	<p>2 課題解決に向けて活動する。</p> <p>① 予想し、パス&ゴーゲームで試す。 ◇ちょうど、自分のところで止まるくらいのパスがいい。 ◇あまり強すぎると、はじいちゃってうまく止められないよ。</p> <p>② 試してみて気づいたことを出し合い、そのキックができるためのポイントをまとめる。 ◇まっすぐ、ちょうど自分のところで止まるようなパスがいい。 ◇足の広い部分(インサイド)でけるとよかった。 ◇上手な人は軸足が少し曲がっているね。</p> <p>③ 全体で共有する。 ◇ 足の内側でキック、膝ちょい曲げ。</p>	<p>○ゲームに入る前に、どんなパスが受けやすいか予想させ、少し全体で共有しておく。</p> <p>○試してみて、自分の考えを決める。</p> <p>○まっすぐなパスを出すためのポイントを考える時は、上手な児童に実際にさせて、見る視点を与えて、考えやすいようにする。※足のどこで蹴る？軸足の膝は曲げる？伸ばす？</p> <p>○実際にまとめたことをもとに、試しにパス練習を行い、パスを出す頻度を上げ、わかって、できるようにする。</p>
<p>【まとめ】相手の受けやすいパスは、まっすぐパスで、軸を少し曲げ、足の内側のところで行ける。</p>			
		<p>④ パス練習をする。</p> <p>3 対面パスでキックの練習をする。</p> <p>4 メインゲーム</p> <p>【期待される学びの姿】 軸足を少し曲げ、足の広いところでパックを蹴っている。ゲーム中にも気を付けながら、蹴ろうとしている。</p>	<p>【具体的評価規準】観点 ○足の広い部分(インサイド)を使って、軸足を少し曲げ、相手が受けやすいパスをけることができる。 (方法：観察・振り返りシート)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○「足の内側」「軸足ちょい曲げ」などという短い言葉かけを積極的行ったり、上手な児童の蹴る足を見せたりする。できたらほめる。</p>
終末	8分	<p>5 めあてに対する振り返りをする。</p> <p>① 今日の学習を振り返る。 ◇ 相手の受けやすいパスとそのコツが分かり前より正確にパスができるようになりました。次の時間は、相手が受けやすいパスをたくさん蹴りたいです。</p>	<p>○学習カードをもとに振り返りを行う。</p> <p>○パスが以前より正確にけられるようになったかどうか、コツを考えたことができたか、友達のよい言動を認め合えるようにする。</p>

